

血液腫瘍・貧血包括医療センター

血液腫瘍・貧血包括医療センターとは、全身をめぐる「血液」の病気を専門に担当する診療科です。

血液の細胞（白血球・赤血球・血小板）の異常や、リンパ節の腫れなどを詳しく調べ、診断と治療を行います。

当院の血液内科専門医は、高度な分子標的療法・化学療法の経験が豊富です。当院では、高齢の方でも患者さんの意向を尊重し「外来治療・入院治療」を選択できます。

《何科を受診すればいいのかわからない》

- ・健康診断で「貧血」「白血球・赤血球・血小板」の異常を指摘された。
- ・体に、ぶつけた覚えのない青あざ「皮下出血」がよくできる。
- ・首、わきの下、足の付け根などのリンパ節が腫れている。
- ・原因不明の微熱や強いだるさ（倦怠感）が続いている。
- ・急に体重が減ってきた。夜間に大量の汗をかく。



《対象となる主な病気》

- ・各種の貧血（鉄欠乏性貧血、再生不良性貧血など）
- ・血液の主要（悪性リンパ腫、白血病、多発性骨髄腫など）
- ・出血しやすい病気（免疫性血小板減少症など）



血液疾患の病態や治療方針を丁寧にお伝えします。

必要な検査を速やかに行い、最適な治療方針を迅速に立てます。

高度な精密検査や治療が必要な場合は、適切な高度医療機関へ責任をもってご紹介します。

〔日本医科大学付属病院、都立駒込病院、東京科学大学、虎の門病院など〕

【受診される方へ】

当科の受診には、現在治療中の医療機関からの「紹介状（診療情報提供書）」をお持ちいただくことをお勧めしております。これまでの検査結果を引き継ぐことで、よりスムーズで的確な診療が可能です。

※受診に関するお問い合わせは《代表》03-3612-7131までご連絡ください。

【担当医紹介】

〔日本医科大学名誉教授・血液内科専門医・指導医〕

猪口孝一

〔日本医科大学 血液内科医〕

勝山 友里菜

〔日本医科大学 血液内科医〕

山下 諒

【主な対象疾患】

- ・急性骨髄性白血病
- ・急性リンパ性白血病
- ・慢性骨髄性白血病
- ・慢性リンパ性白血病
- ・骨髄異形成症候群
- ・慢性骨髄単球性白血病
- ・真性多血症
- ・本態性血小板血症
- ・骨髄線維症
- ・悪性リンパ腫（ホジキンリンパ腫/非ホジキンリンパ腫）
- ・成人T細胞性白血病/リンパ腫
- ・多発性骨髄腫
- ・原発性マクログロブリン血症/リンパ形質細胞性リンパ腫
- ・単クローン性γグロブリン血症
- ・原発性ALアミロイドーシス
- ・再生不良性貧血
- ・赤芽球癆
- ・発作性夜間血色素尿症
- ・キャッスルマン病
- ・自己免疫性溶血性貧血
- ・寒冷凝集素症
- ・ビタミンB12欠乏性貧血
- ・葉酸欠乏性貧血
- ・鉄欠乏性貧血
- ・免疫性血小板減少症
- ・血栓性血小板減少性紫斑病
- ・フォンビルブランド病
- ・後天性血友病
- ・各種凝固因子異常症
- ・発熱性好中球減少症
- ・薬剤性無顆粒球症